

被害状況別紙 (記載要領・記載例)

申請人の氏名を記入して下さい。

複数枚必要な場合、コピーして使用し、ページ数を記入してください。

申請人氏名 ○○ ○○○

詳細が不明な場合でも、○月上旬頃、夕方頃、～頃等、記憶されていることや資料で可能な限り記入してください。

No. 1

番号	被害にあわれた日時 (現金を渡した日時等)	令和○○年○○月○○日 14時 頃	被害にあわれた場所 (現金を渡した駅名等)	○○県○○市○○町 ○○駅	
	名前をかたられた 親族の名前、関係	○○○○ (息子)	連絡に指定された電話番号	○○○-○○○○-○○○	
被害にあわれた 状況	被害にあわれた 現金の準備方法	銀行預金を引き出した。 被害に遭われた現金をどのようにして準備したか記載してください。			
	現金を準備するため、 預金を下ろした口座等	金融機関名	○○銀行	本店名	○○支店
		口座名義人	○○○○	口座番号	普通 **** * * * *
返済(被害)額	○○○,○○○ 円	被害金額を確認できる添付書類 (振込明細書、通帳等のコピー)	通帳のコピー 振込明細書のコピー 日記帳のコピー 郵便物のコピー など		
犯人と話した内容等	息子(返済)当時から申請時までの間の氏名変更の有無について、どちらかにチェックを付けて下さい。変更ありの場合には、被害(返済)時の氏名、ふりがな、変更年月日・事由		被害当時の氏名、変更事由等		
進行番号を記載して下さい。	犯人と話した内容等、今回の被害特定につながる事項を記入してください。		<input checked="" type="checkbox"/> 変更あり 変更なし 変更あり ふりがな (△△△△△△) 氏名 ○○○○ 変更年月日 **年**月**日 事由 婚姻 <input type="checkbox"/> 変更なし		

番号	被害にあわれた日時 (現金を渡した日時等)	令和○○年○○月——日——時—— 中旬 頃	被害にあわれた場所 (現金を渡した駅名等)	○○県○○市○○町 ○○駅	
	名前をかたられた 親族の名前、関係	○○○○ (息子)	連絡に指定された電話番号	○○○-○○○○-○○○	
被害にあわれた 状況	被害にあわれた 現金の準備方法	銀行預金を引き出した。			
	現金を準備するため、 預金を下ろした口座等	金融機関名	○○銀行	本店名	本店
		口座名義人	○○○○	口座番号	不明
返済(被害)額	○○○,○○○ 円	被害金額を確認できる添付書類 (振込明細書、通帳等のコピー)	紛失		
進行番号を記載して下さい。	息子(返済)当時から申請時までの間の氏名変更の有無について、どちらかにチェックを付けて下さい。変更ありの場合には、被害(返済)時の氏名、ふりがな、変更年月日・事由		被害当時の氏名、変更事由等		
このページの 返済(被害)額合計	○○○,○○○ 円		返済(被害)額合計の合算額を、申請書裏面の「犯罪行為により失われた財産の価額」欄に記載してください。		

被害状況等を詳しく覚えていない場合でも覚えていない項目に「不明」等と記入して申請してください。また、被害金額を確認できる書類を紛失等の理由により添付できない場合は「紛失」等と記入して申請することは、いずれも可能です。

申請内容を審査した結果、今回の支給手続対象外であると判断された場合や、被害金額等の事実確認ができない場合は、今回の手続による「犯罪被害額」と認定できないこととなりますので、あらかじめ御了承ください。